

Vol.25

2025.6

みまや通信

いわき市医療センター広報誌



特集 中央放射線室のご紹介 … 4～7

CONTENTS | 目次

- 院長就任・退任の挨拶 …… 2～3
- 研修医のご紹介 …… 8～9
- 外来担当医一覧 …… 10～11



杉 正文

院長就任のご挨拶

令和7年4月から院長を拝命しました杉正文です。

初代院長「畠山靖夫先生」から数えて第10代目の院長になります。就任後、2ヶ月が経過しましたが、日々、その重責に大変身が引き締まる思いです。

さて、浜通り地区で唯一の救命救急センターを持つ当センターは、高度急性期医療を提供するとともに、地域がん診療連携拠点病院や地域周産期母子医療センターなど、地域の中核病院として様々な役割を担っております。

最近では、外科や婦人科など複数の診療科で「手術支援ロボット・ダヴィンチ」による手術適用範囲を拡充しているほか、私の専門である循環器内科分野でも、「僧帽弁逆流症」に対する「マイトラクリップ（経皮的僧帽弁形成術）」や不整脈等の心房細動に対する「ウォッチマン（左心耳閉鎖術）」を取り入れるなど、患者さんの身体に比較的負担が少ない「低侵襲治療」に力を注いでおります。

令和6年4月からは、医師の時間外労働規制、いわゆる「働き方改革」が施行されました。日々の診療現場では、各医師の勤務状況に目を配りながら、当センターの役割である高度急性期医療等の体制を維持していく必要があります。また、本市全体で医師や看護師など医療スタッフが不足する中ではありますが、「医療の質」を更に向上させる取り組みにも努めていきたいと考えております。

私が日頃から心に留めている言葉は、「患者さんあつての病院」です。畠山靖夫先生の言葉ですが、患者さんに、より良い医療を提供するためにも、地域の医療機関の皆様と「協同」しながら、常に患者さんの視点に立って「地域に開かれた病院」づくりを目指してまいります。

今後も、ご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



相澤 利武

特任院長兼統括専門高度 診療センター長就任のご挨拶

本年3月末で令和3年度から4年間務めた院長を退任し、4月から「特任院長兼統括専門高度診療センター長」を拝命しました相澤利武です。

院長在職中は、格別のご厚情を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、在職中を振り返りますと、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により、一時期は本市でも1日あたりの感染者数が千人を超えるなど、これまでに経験したことのない状況が続きました。

この間も、地域で唯一の「感染症指定医療機関」としての責務を果たすため、当センターのスタッフはもとより、地域の医療機関や関係者の皆さまとともに一致団結し乗り切って参りました。

今後、将来にわたって、本市の地域医療を守っていくためには、こうした医療機関等との連携や団結がカギになると考えております。

私自身も、統括専門高度診療センター長としての職責を果たしていくため、引き続き整形外科医として、地域の医療機関等との皆さまと連携しながら、当センターの役割である高度急性期医療の提供に全力を傾注して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



中央放射線室 技師長
名城 敦

現在、診療放射線技師が31名在籍しております。
最新の放射線技術を駆使し、医師や看護師、他部署のスタッフと連携しながら、24時間365日体制で患者さんの診断や治療を支援しております。

医療技術の進歩に対応するため、CT装置やMRI装置等は最新機器を導入しております。また、最良の医療を提供できるよう、認定および専門資格を有した診療放射線技師を各部門に配置し、確かな技術と温かい心で患者さんが快適に検査を受けられるよう努めております。

安心して検査を受けていただけるよう放射線画像検査相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

組織について

■核医学・放射線治療・救急部門

【P5】

- ・核医学検査
- ・放射線治療
- ・救命救急センター

■放射線画像診断部門【P6～P7】

- ・一般撮影室
- ・乳房撮影室（マンモグラフィ撮影）
- ・X線透視撮影室
- ・MRI検査室
- ・CT検査室
- ・ハイブリッド手術室
- ・血管造影検査室（DSA・心臓カテーテル室）
- ・骨密度測定検査室

認定診療放射線技師について



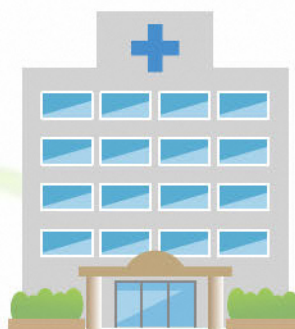
第1種放射線取扱主任者の資格取得者を配置し、放射線の安全利用に努めています。

患者さんへ安全安心な医療を提供できるよう専門的な知識や技術を身につけるため、各関係機関・学会等の多種・多様な専門認定資格の取得を推進しております。



当センター認定放射線技師の内訳

- 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- 下部消化管（注腸）認定診療放射線技師
- 救急撮影認定技師
- 画像等手術支援認定診療放射線技師
- 日本DMAT隊員
- X線CT認定技師
- Ai認定診療放射線技師
- 磁気共鳴専門技術者
- ゾーフィグ取扱従事者
- 日本放射線治療専門放射線技師
- 医療画像情報制度管理士
- 第1種放射線取扱主任者
- 第2種放射線取扱主任者
- 放射線管理士
- 被ばく相談員
- 放射線機器管理士
- 衛生工学衛生管理者
- X線作業主任者
- Y線透過写真撮影作業主任者
- 防災士
- 臨床実習指導教員



放射線治療

高エネルギーの放射線を用いてがん細胞を破壊する治療法です。X線や電子線などを利用して、がんの部位に集中して照射することで正常細胞への影響を可能な限り抑えながら効果的に治療します。

手術や化学療法と併用することが多く、身体への負担が比較的小さいのが特徴です。
治療計画は、CTやMRIを用いて綿密に立てられます。安全な治療を提供するために、日々の精度管理をしっかりと行っています。



核医学検査

放射性医薬品を体内に投与して、体から出た放射線をカメラで映し出す検査です。放射性医薬品の体内への取り込み具合から、血流や代謝などの機能を数値や画像として見るができます。
検査は、放射性医薬品を体内に投与してから数時間、数日後に撮像するものや、一日に二回撮像するものなど様々あります。そのため、検査予約の段階で検査内容の説明を丁寧に行うよう心がけています。

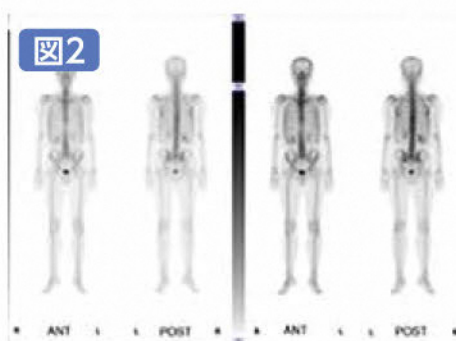


図2 骨シンチ全身画像
(骨転移、その他炎症等を画像化する検査)

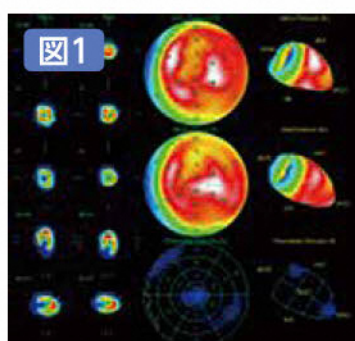


図1 心筋シンチ画像
(心筋血流及び機能を画像化する検査)

救命救急センター

迅速に診断し、治療を行うためには、よりスムーズな画像検査が求められます。救命救急センターには、救急患者さん専用のCT装置を備えており、待ち時間なく画像検査できるような体制を整えています。
また、緊急に治療を要する疾患を見逃さないように、短時間でもより質の高い画像情報を提供できるよう工夫しています。



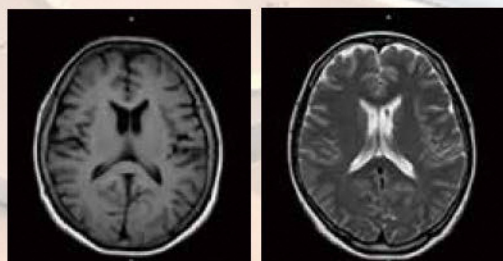
MRI検査室

MRIは、強力な磁石でできた筒の中に入り、臓器や血管を撮像する検査です。放射線を使用しないため、被ばくの心配はありません。

当センターでは、MRI装置を2台導入しています。最新のAI技術を搭載し、検査の高速化や高画質な画像の提供を可能としています。

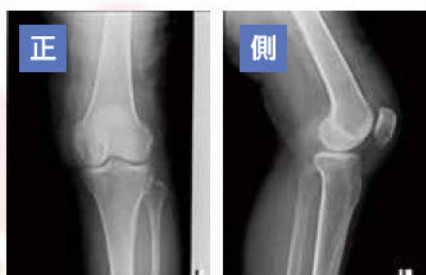
一部の検査では、映像を見ながら受けることができますので、狭い場所が苦手な方にも好評です。お気軽にご相談ください！

実際のMRI画像



T1強調画像

T2強調画像



膝関節正側画像

一般撮影室

一般撮影は、X線で体の内部を写し出す検査です。撮影する部位や患者さんの体格に合わせ、より少ない線量で診断しやすい画像を提供できるように心がけています。

また、患者さんがリラックスして撮影に臨めるよう、信頼してもらえる環境づくりにも努めています。

乳房撮影室 (マンモグラフィ撮影)

乳房を圧迫し、X線で乳房内の組織や病変を写し出す検査です。乳房組織がごく小さく石灰化したものや、セルフチェック、触診ではわかりにくい小さなしこりを抽出することができます。

当センターでは、昨年、新装置を導入し、高解像な画像が得られるようになりました。なお、個人差はありますが痛みの伴う検査ですので、できるだけ迅速に撮影するよう心がけています。



X線透視撮影室

食道・胃・小腸・大腸といった消化管検査や腎臓・尿管・膀胱などの泌尿器科領域、骨折・脱臼の整復、神経根ブロックといった整形外科領域、嚥下検査など多岐の診療科に対応した検査を行っています。

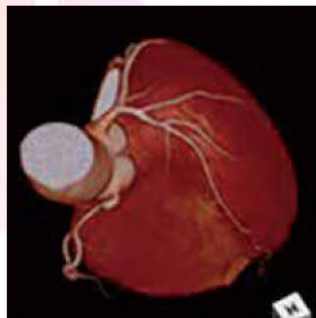
左の画像は神経根ブロックといい、神経根に麻酔薬を注射し、腰痛などの痛みを和らげる治療法のことです。痛みの原因となる神経に届くよう、造影剤を注入し、レントゲン透視を確認しながら薬剤を注入していきます。



神経根ブロック



画像処理前



画像処理後

CT検査室

様々な方向からX線を照射して身体の断面画像を取得する検査です。当センターでは、最新のCT装置を導入しており、早いスピードで全身のあらゆる部位の撮影が可能です。1mm以下の細かいデータを取得することで、多様な断面画像や3D画像の作成を行い、骨折や血管の異常を見つけやすくします。高精細な画像を提供することで、病変の早期発見や治療方針の決定に大きく寄与します。

血管造影検査室 (DSA・心臓カテーテル室)

血管内に挿入したカテーテルから造影剤を注入し、血管撮影装置を用いて様々な方向から観察することで病気の診断を行います。治療が必要な場合には血管内から体への負担が少ない治療を行うことができます。

当センターでは、ハイブリッド手術室の1台も含め、計4台の血管撮影装置を保有しています。

日々の検査が安全に実施できるよう機器管理や被ばく線量管理を行っています。



ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室では、ステントグラフト内挿術、大動脈弁植え込み術、経皮的僧帽弁形成術、左心耳閉鎖術など、主に心臓、大動脈等の主要な血管の治療を行っています。

手術台と血管撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室は、外科的治療とカテーテルを用いた内科的治療を同時に行うことができます。

医師が繊細な作業を行っているため、手技中に求められる臓器の位置や角度を迅速かつ正確に提供しています。

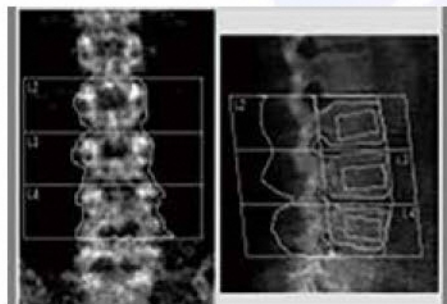


骨密度測定検査室

骨に含まれるミネラル量を測定する検査です。この検査は、骨粗鬆症の診断、経過観察、治療の判定などに用いられます。

様々な検査方法がありますが、当センターではX線を使用し腰椎と大腿骨の骨密度を測定しています。

検査時間は約20分です。定期的に検査することにより、骨の状態の時系列変化を把握し、骨密度の低下や治療の効果を判定します。



検査で撮影した画像

・画像から解析して、骨密度を算出

YouTube動画配信中!

骨粗しょう症による
再骨折を防ぐ

いわき市医療センターの取組み



骨折リエゾンサービス (FLS)

骨粗しょう症になり、転倒などで一度骨折すると、再骨折(二次骨折)のリスクが高くなります。当センターでは、大腿骨近位部を骨折した患者さんに対し、多職種が連携して、二次骨折を予防する取組(骨折リエゾンサービス[FLS])を行っています。

中央放射線室では、X線検査や骨密度検査でこの取組みに携わっています。



いわき市医療センター(公式動画チャンネル)で動画を公開しています!ぜひご覧ください!



気管支鏡検査のご紹介

呼吸器内科で実際に行っている気管支鏡検査について説明します。



気管支鏡検査とは？

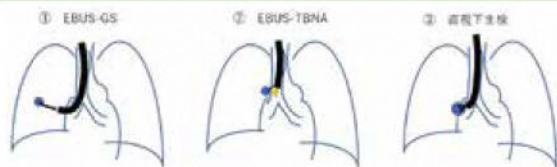
気管支鏡は、口から気管支（空気の通り道）に内視鏡を挿入し、気管支の内部を観察したり、肺の異常がある場所（病変）から細胞を採取する検査です。特に肺癌の診断には欠かせない検査です。

どのような時に検査を行いますか？

- ・レントゲンやCTで肺や気管に影が見つかった
- ・左右の肺の間にあるリンパ節が異常に腫れていて肺癌などの悪性疾患が疑われる

このような場合、診断のために病変から細胞を採取すること（生検）が必要になります。

検査の主な方法は図のようなものになります。



- ①末梢肺の病変を対象とする経気管支生検
- ②縦隔リンパ節を対象とする超音波気管支鏡ガイド下針生検
- ③中枢にある腫瘍性病変を対象とする直視下生検

検査の流れと方法

検査時間は、20分から30分程度ですが、検査や処置の内容によって時間を要することがあります。

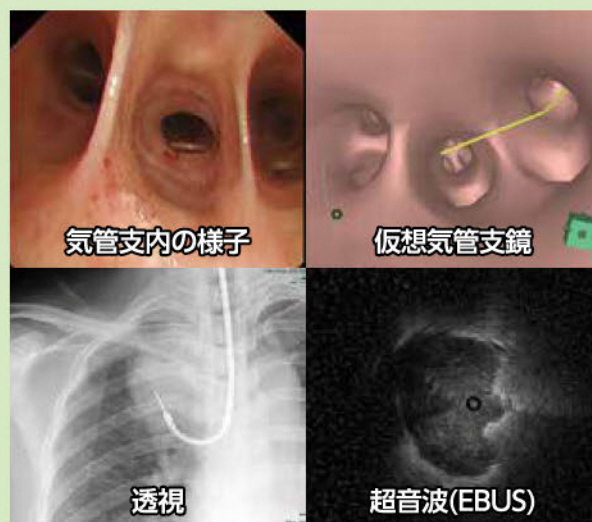
検査中は声が出ません（呼吸はできます）。

検査を受けている側の胸に痛みや違和感などを感じた場合は、手で台を叩くなどして知らせてください。

- ①検査直前にのどにスプレー等で局所麻酔をします。
- ②検査台に仰向けになり、心電図や酸素濃度、血圧のモニターを装着します。目に防護マスクをします。
鼻から酸素投与をします。鎮痛剤を点滴から投与します。
- ③口から気管支鏡を挿入し、気管支内の観察や生検を行います。

検査の様子

検査は、ビデオモニターに映し出される気管支内の画像の他、仮想気管支鏡（病変に到達するルートを示すもの）、透視、超音波を確認しながら行います。



検査の注意点

脳や心臓の持病のため、抗凝固薬や抗血小板薬（血をサラサラにする薬）を服薬中の患者さんは、検査による出血の危険性があるため、前もって担当医師の指示を仰ぐ必要があります。

研修医を紹介します

今年も、若手医師を育成する臨床研修がスタートしました。二年間の臨床研修では、様々な診療科を回り、病棟業務や救急外来も担当します。今回は、この春から二年次研修医の庄司敦輝先生にお話を伺いました。

●二年次研修医

庄司 敦輝 先生

獨協医科大学卒



Q1 医師を志したきっかけは？

小さい頃から将来は医療に携わる仕事に就きたいと憧れていました。が、医療職の中でも患者さんの治療により多く携わる医師になりたいと考えようになりました。

Q2 数ある病院の中で当センターを研修先に選んだ理由は？

いわき市という広い医療圏、浜通り唯一の三次救急病院ということもあり、多くの症例が集まる当センターで働きたいという思いがありました。また、私自身いわき市が地元ということも選んだ理由です。

Q3 臨床研修で心がけていることは？

一つ目は患者さんの身体に何が起きているのかしっかりと考えて治療に活かすこと、二つ目は三年目以降はひとりで診療していく機会が格段に増えるので、その時に困らないよう知識やスキルを身に付けていこうと心がけています。

Q4 今後進みたい分野は？

今のところ内科系に進みたいと考えています。自分の性格に合っているのかなと感じていますが、患者さんの身体の中で何が起きているのかしっかりと考え、治療していきたいです。

Q5 今後の意気込みを教えてください！

地元いわき市で充実した研修ができています。三年目以降を見据えて自立した医師になれるよう、残り一年となった研修期間もしっかり勉強していきたいです。



臨床研修センターのホームページはこちら！
病院見学にもぜひお越しください！



学生の頃から、サックスを続けています。病院のイベントの際には、催し物で他の先生方とライブしています。



就職セミナーにも参加しています！当センターの魅力や自身のこれまでの経験を医学生に伝えています！



指導医の手厚いフォローのもと、1日1日を大切にしながら、知識と手技の習得に励んでいます！

外来担当医一覧 令和7年5月～

最新の情報はホームページをご覧ください。



- 学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承願います。
- 当センターでは予約診察を行っており、表中の **部**は予約優先(一部完全予約制)となります。詳細は各診療科でご確認ください。
- 外来担当日以外の日、手術や検査、病棟での診察等を行っています。

= 予約診察		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
区分	アス名	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆ **内科** ※IBD=炎症性腸疾患 糖=糖尿病科外来
※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。

内科一般(新)	E09	油井 満	油井 満	(当番制)	油井 満	(当番制)
	E08				高井 智	
消化器内科	F31					上野 孝治(～15:00)
	E11	池田 智之	越後 紘治	中山 晴夫	池田 智之	越後 紘治
	E12		高井 智	織内 優好	池谷 伸一	池田 智之
	E13	高橋 成一		高橋 成一(IBD専門)	織内 優好	高橋 成一
循環器内科	F22	山本 義人(新患)	瀬川 将人(～14:00)	山下 文男(～15:00)	臨床研究枠 山本 義人(12:00～)	埴 健一郎(～16:00)
	F23	工藤 俊(～14:00)	杉 正文(～14:00)	土屋 聡(～16:00)	杉 正文(～14:00)(新患)	野木 正道(～14:00)
	F24	石井 和典		渡辺 翼(～14:00)	渡辺 翼(～14:00)	伊藤 和繁(～15:00)(6月まで)
	F31		第2・4ICD、ペースメーカー			
禁煙外来	E17				齊藤 道也(原産外来)(第2・4)	
糖尿病・内分泌科	E18	齋藤 悠(～15:00)(糖)	齋藤 悠(～15:00)(糖)	渡辺 崇(糖)	齋藤 悠(～15:00)(糖)	齋藤 悠(～15:00)(糖)
	F31	眞部 和也				
血液内科	F32	阿久津和子	阿久津和子	濱崎 洋一	濱崎 洋一	眞部 和也
脳神経内科	E15		大 学(～14:30)(第2・4)			柴野 健
心療内科	F25	岩橋 成壽	岩橋 成壽	木田 智士	岩橋 成壽	(交代)

アス名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆ **小児科** ※循=循環器 血=血液 内=内分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヶ月児健診 予=予防接種 腎=腎臓
【午後(専門外来診察)は完全予約制】 神=神経 シ=シナジス

B41	埴 淳美		埴 淳美		埴 淳美	遠藤 起生 循	埴 淳美	遠藤 起生 循	埴 淳美		
B52		石井 まり(第2・4) ア		埴 淳美 ア	(交代)	神		藤江 弘美 神		藤江 弘美 神	
B53	鶴養 大輝		鶴養 大輝		大原 信一郎(第2・4は午後のみ) 腎内	鶴養 大輝	埴 淳美 ア	鶴養 大輝			
B54	(交代)		(交代)		鈴木保志朗 腎	(交代)	鈴木保志朗 腎	(交代)			
B42											
B43			本田 義信 新		埴 淳美 予					本田 義信 新	

◆ **小児外科** ※月曜日午後の診察は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。

B44	(手術)	中島 雄大	佐野 信行	(手術)	中島 雄大	中島 雄大	(手術)	佐野 信行
B45		佐野 信行						

◆ **皮膚科** ※火曜日の診察は、10:00からになります。

F42		非常勤	非常勤	非常勤				
-----	--	-----	-----	-----	--	--	--	--

◆ 心臓血管外科

F33	石田 圭一	入江 嘉仁	石田 圭一	(交代)				
F34	中野渡 仁		中野渡 仁	入江 嘉仁				

◆ **呼吸器科** ※内=内科 外=外科 ※呼吸器内科の新患は、月・水・木・金曜日で担当します。

B22		(手術)			福原 光朗(外)			
B23	峯 勇人(外)				峯 勇人(外)			
B24	大 学(外) (院内紹介)(月1回)							
B25	大 学(内)			峯村 浩之(内)	峯村 浩之(内)		大 学(内)	
B26		大沼 菊夫(内)						

◆ 外科

A16	川口 信哉	川口 信哉	川口 信哉	白相 悟	吉田 寛	
A17	阿久津 諒	白相 悟	九里 孝雄(甲狀腺)	三田地克昂	永井 有	
A18	新谷 史明	吉田 寛	鈴木 大聡			
A19	根本 紀子(～15:30)(乳腺)	古矢野々香	根本 紀子(乳腺)	乳腺外来・非常勤(～13:00)(第2・4)	根本 紀子(～14:00)(乳腺)	
A14		神山 篤史		佐々木啓迪		
A13		藤川奈々子		藤川奈々子		
A12		近藤 裕哉				

フース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

◆形成外科 ※形成外科は、日にち予約となります。

F36	手術	芳賀 康史	(再来処置)	芳賀 康史	手術	芳賀 康史 (14:00~)	手術	芳賀 康史		沢田 歩
F37		沢田 歩		沢田 歩		(当番制)		吉澤 礼音		頼 日向子
F38		吉澤 礼音		頼 日向子(第1・2・4) 檜垣 仁志(第3)				頼 志(第1・2・3・5) 笠井 文博(第4)		吉澤 礼音
F42		頼 日向子						五島 雅俊		五島 雅俊

◆産婦人科 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。 ※毎週火曜日の午後は、産後1か月健診があります。

F51	(交代)		金杉 優	西山 浩	西山 浩	西山 浩	西山 浩
F55	本多つよし		本多つよし	本多つよし			力丸 由衣
F62	(交代)		大関 健治	金杉 優(15:30)	大関 健治	金杉 優	大関 健治
F64	三瓶 稔		清野 恭子	三瓶 稔	清野 恭子	三瓶 稔	三瓶 稔

◆整形外科 ※脊=脊椎 外=外傷・骨折 足=足・外傷 肩=肩・股関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ 腫=腫瘍 骨=骨粗しょう症 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。

A01	安永 亨	ス-		安永 亨	膝-	安山 晃弘	外-	安永 亨	膝-	
A02	早坂 賢			笹島 功一	外足	笹島 功一	外足	渡邊 和之	脊-	
A06	猪股 洋平	脊-	猪股 洋平	脊-	箱崎 道之	腫-		猪股 洋平	脊-	
A07	相澤 利武	肩・股		相澤 利武	肩・股			相澤 利武 (15:00~)	肩・股	
A08	高橋 正樹	股-		磯部 瑞	膝-	高橋 正樹 (14:00~)	股-	磯部 瑞	膝-	
A09	狩野 将吾			毛内 悠絵				大谷 晃司(第1・3・5) 高橋 忠久(第2・4)	脊・骨	

◆脳神経外科

A12	鈴木 保宏		(手術)	鈴木 保宏		(手術)	鈴木 保宏	
A13	佐藤 加奈子		(手術)	佐藤 加奈子		(手術)	佐藤 加奈子	

◆泌尿器科 ※水曜日は、新患の診察は行っておりません。

B31	(交代)		徳山 聡	(交代)	(手術)	徳山 聡	松井 涼
B32	(手術)		上野 誠司	(交代)	(手術)	上野 誠司	上野 誠司/徳山 聡
B33	(手術)		竹田 篤史	(手術)		松井 涼	竹田 篤史

◆眼科 ※毎月第2水曜日の午後は、小児外来のみとなります。

E04	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃		齋藤 昌晃	
E03		大 学	手術・検査・治療 (予約のみ)	大 学	検査・治療 (予約のみ)	非常勤	手術・検査・治療 (予約のみ)	大 学	検査・治療 (予約のみ)
E02		検査・治療 (予約のみ)							

◆耳鼻咽喉科【完全予約制】

G01	(交代)		志賀 清人	(交代)		志賀 清人		志賀 清人	
G02	(交代)		西條 聡	(交代)		西條 聡		西條 聡	
G03	(交代)		青木 悠伍	(交代)		青木 悠伍	手術	青木 悠伍	腫瘍外来
G04	(交代)		鷗沼むつ貴	(交代)		鷗沼むつ貴		鷗沼むつ貴	
G05	(交代)		長谷川航世	(交代)		長谷川航世		長谷川航世	

◆歯科口腔外科 ※午後は、予約診療となります。

G14	鈴木 崇嗣		(手術)	鈴木 崇嗣		鈴木 崇嗣		鈴木 崇嗣	
G16	岩崎 敬大	(外来手術)		岩崎 敬大	(外来手術)	岩崎 敬大	(外来手術)	岩崎 敬大	(外来手術)
G17	上野 詩歩			上野 詩歩		上野 詩歩		(交代)	

◆麻酔科 ※01=術前評価 02=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月~木曜は、日にち予約となります。

01		術前評価(交代)	術前評価(交代)	術前評価(交代)	術前評価(交代)	術前評価(交代)	術前評価(交代)
02							飯嶋 千裕

◆放射線治療科

04		藤本 圭介	藤本 圭介	藤本 圭介	非常勤(新患)	非常勤(再診)	藤本 圭介		
----	--	-------	-------	-------	---------	---------	-------	--	--

◆緩和ケア内科

E11		池谷 伸一	池谷 伸一	池谷 伸一				池谷 伸一	
-----	--	-------	-------	-------	--	--	--	-------	--

◆透析センター外科

F31		小柴 貴明			小柴 貴明				
-----	--	-------	--	--	-------	--	--	--	--



編集後記

今回は、中央放射線室を中心に紹介しました。病院は、医師や看護師、コメディカル職など、多職種の連携によって成り立っています。それぞれの部署の仕事内容や役割、魅力を少しでもわかりやすくお届けできるよう、これからも努めてまいります。

News

臨床研修医・新入職員が着任しました



今年度、当センターでは、医師・看護師・コメディカル・事務職あわせ84名の職員が新たに加わり、新しいスタートを切りました。職員一同、より一層地域に貢献できるよう励んでまいります。

令和7年度の臨床研修医は14名。臨床研修指定病院として、明日の地域医療を担う若手医師の育成に力を注いで参ります。

令和8年度も、医師14名、歯科医師1名の研修医を募集予定です。7月から9月にかけて選考試験を行います。詳細はホームページ・SNSに掲載予定ですので、近くなりましたら、ご確認ください。

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん)

相手を慈しみ思いやる気持ちで患者さんに接すること。

「妙手」(みょうしゅ)

すぐれた医療技術で診察、治療を行うこと。

基本方針

- 1 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
- 2 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
- 3 明日を担う医療従事者を育成します。
- 4 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
- 5 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
- 6 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。